

資料6

低炭素モビリティWG 資料

第10回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所:秋田市議場棟 第三、四委員会室

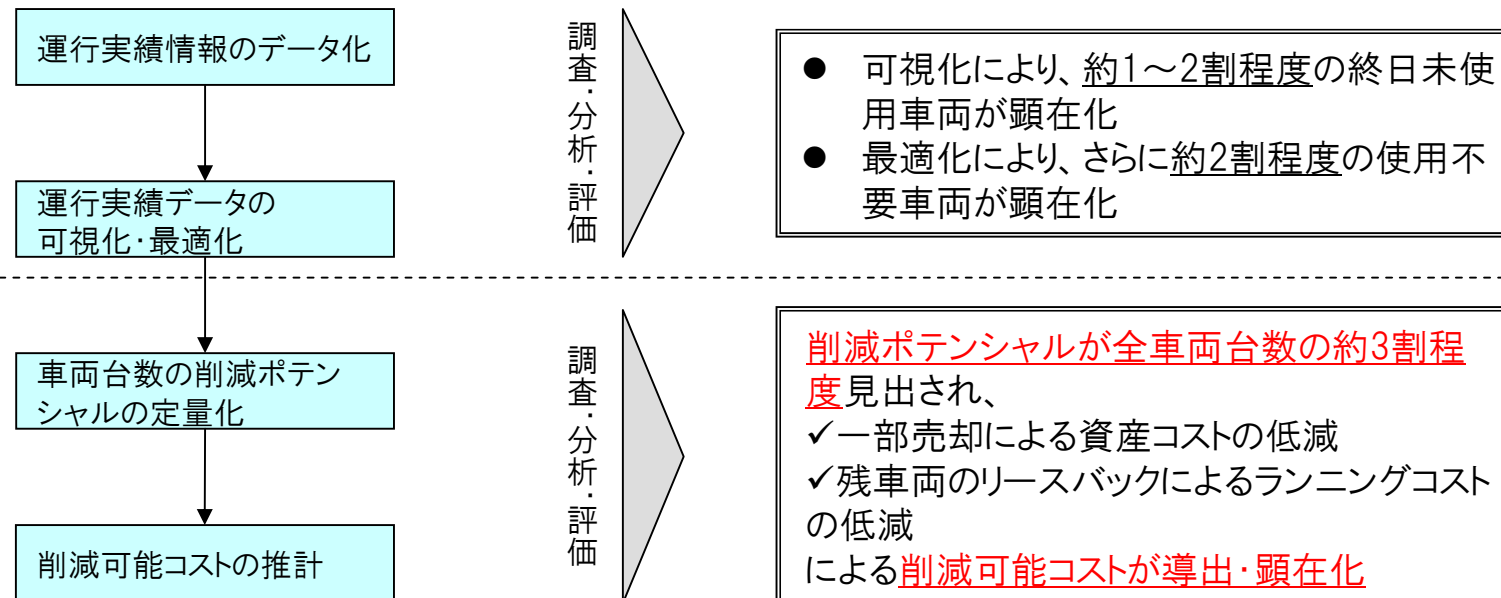
平成25年9月27日(金)

1. 昨年度の調査結果

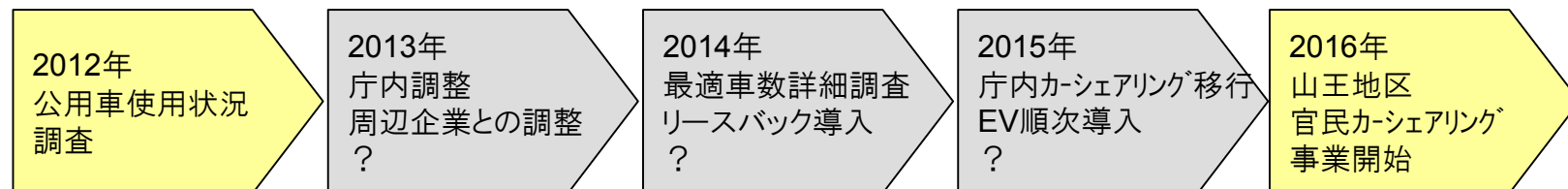
秋田市公用車を対象とした調査により、一定の条件のもとで、可視化、最適化を仮想的に実施したところ、未使用車両の顕在化と削減ポテンシャルを確認。

2016年に山王地区の官民カーシェアリング事業開始を目指した検討を開始することを提案。

※ 調査概要



※ 調査結果での提案スケジュール



2. 「山王地区官民カーシェアリング」の課題

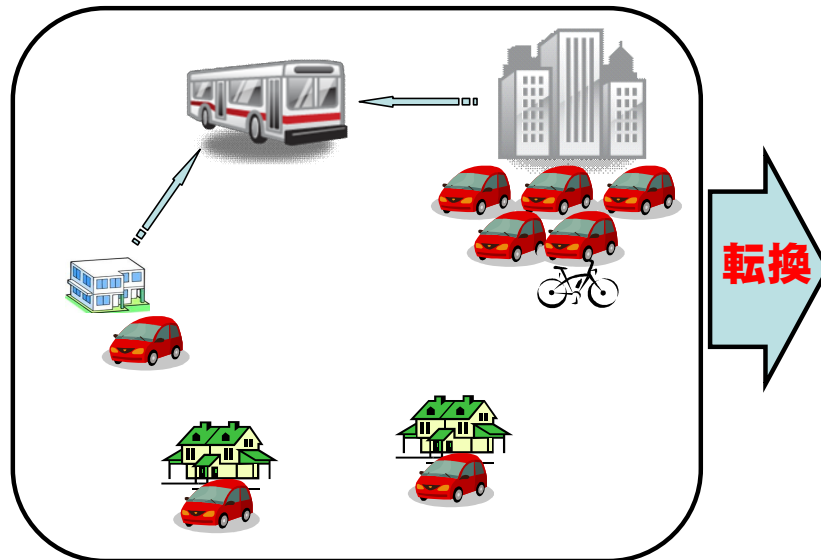
昨年度の調査結果において提案を受けた「山王地区官民カーシェアリング」について、次のような課題ある。

- (1) 公用車の維持管理、運用の実態などを踏まえ、より実態に即した効果検証
- (2) 冬季の運用のあり方
- (3) モビリティの低炭素化に向けた意識の醸成

前記の課題(1)、(2)について、庁内における研究を進める一方で、その前提となる(3)低炭素モビリティの必要性の共有を図る必要がある。

【現状】

事業者、市民ともに個別に自動車を購入し、自転車や公共交通機関など、**低炭素に資する移動手段よりも、利便性の高い自己所有車両を活用**している。

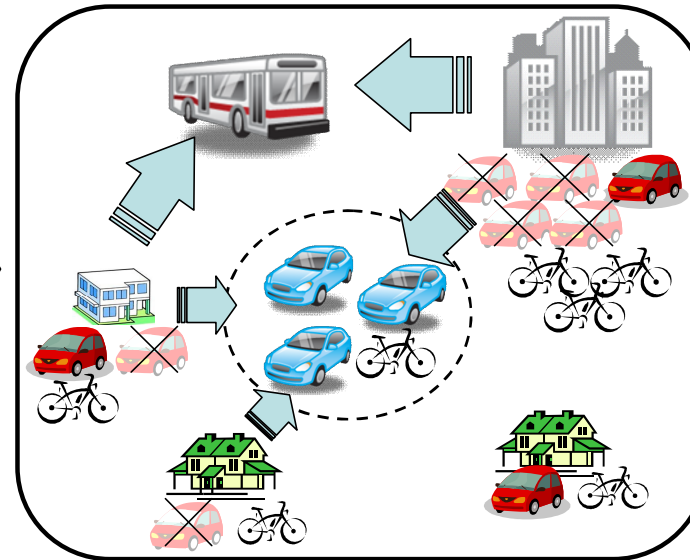


実現のために

【将来】

安易に自動車に頼るライフスタイル・ワークスタイルから転換し、**低炭素な地域社会を構築**する。

自動車シェアとの組み合わせとして、①公共交通機関の活用、②自転車の活用、③相乗りなどが考えられる。



市民や事業者を巻き込んだ施策に先立ち、市職員が率先して**意識・行動の転換**を図る必要がある。

3. 今後の取組方針（案）

昨年度の調査によって得られた知見やこれまでの取組状況を踏まえ、低炭素モビリティへの意識の醸成を図るために、**市職員の意識・行動転換に向けた取組を推進する。**

